
夢の中

千田基生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢の中

【Zマーク】

Z28370

【作者名】

千田基生

【あらすじ】

夢の中でも…な怖くないホラー。

私はどういひ訳か、『猿夢』や『転ぶと死ぬ村』などの類いの夢を見たことがあります。

見たいとも思いませんが。

明晰夢すらありません。

ただ一度だけ、不思議な夢を見ました。

私は家を出て、知っている道を急いで歩いていました。その道中に2体のお地蔵さんが實際においてあるのですが、何を祀っているのかはよくわかりません。ただ、不思議なことに片方のお地蔵さんの頭は、いつ見ても無いんです。その道沿いの別の場所にある、頭が下にあるお地蔵さんは違うようですが。

その道を進んでいくと「み収集場」があって、なぜかそこには2体のお地蔵さんの頭のある方が無造作に置かれていたんですね。躊躇たりだな、とは思いつつ先を急いでいたので『帰りに悩む』ことにしそう」と足早にその場を通り過ぎました。

夢はまずそこで終わっています。

次に記憶しているのは夕方で、終わつたところから家へ向かつて歩いておりましたので、帰り道だと思います。

その道の「み収集場」の前まで来て『やつしょば』と、ふと黙り出してそちらを見ました。

そこには胴だけしか置いてなかつたんですね。
びっくりしましたが近付いてみました。

収集場の傍に、先程無造作に置いてあつたお地蔵さんが佇んでました。

ではこれは?と思つて、その胴だけのお地蔵さんを触つてみると、

夕方だつた景色がじんわりとモノクロになりました。

その胴が狐の置物になつて仄かに七色に輝いてまして、俗に言ひ金縛り状態で動けなくなつたんです。

しかし、通りすがりの男性が慌てて駆けつけて金縛りを解いてくれたんです。見覚えのない方でしたが、夢の中の私は何故かその人を先生だと認識しました。

先生曰く、

『厄介なものに引っ掛かりましたね。あなたは、6500業の呪いをかけられてしまった。6500の悪事を行つと死ぬ。』
と言つことでした。

私はそこで目を覚ました。

具体的な数字にびびりながら、その後何もないで気にしないようになっているのですが。そもそも夢なんで、つっこみどころも多いです。

夢の中でも金縛りつて遭うんですね。

(後書き)

ホラーなめててすんません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2837o/>

夢の中

2010年10月13日21時02分発行